

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成30年03月30日

計画の名称	川崎市内における踏切による交通渋滞を解消する連続立体交差事業												
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	川崎市												
計画の目標	連続立体交差事業を実施することで、ボトルネック踏切など多数の踏切の除却を行い、踏切による交通渋滞を解消し都市交通の円滑化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	46,100	A	46,100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H34末)
1	・事業区間内の除却対象踏切数を10箇所(H30年度当初)から7箇所(H34年度末)に減少させる。 事業区間内の除却対象踏切数	10箇所	箇所	7箇所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	川崎市	直接	川崎市	S街路	改築	京浜急行大師線	連続立体交差 L=2.15km	川崎市	■	■	■	■	■	46,100	1.03	—
											小計						46,100		
											合計						46,100		

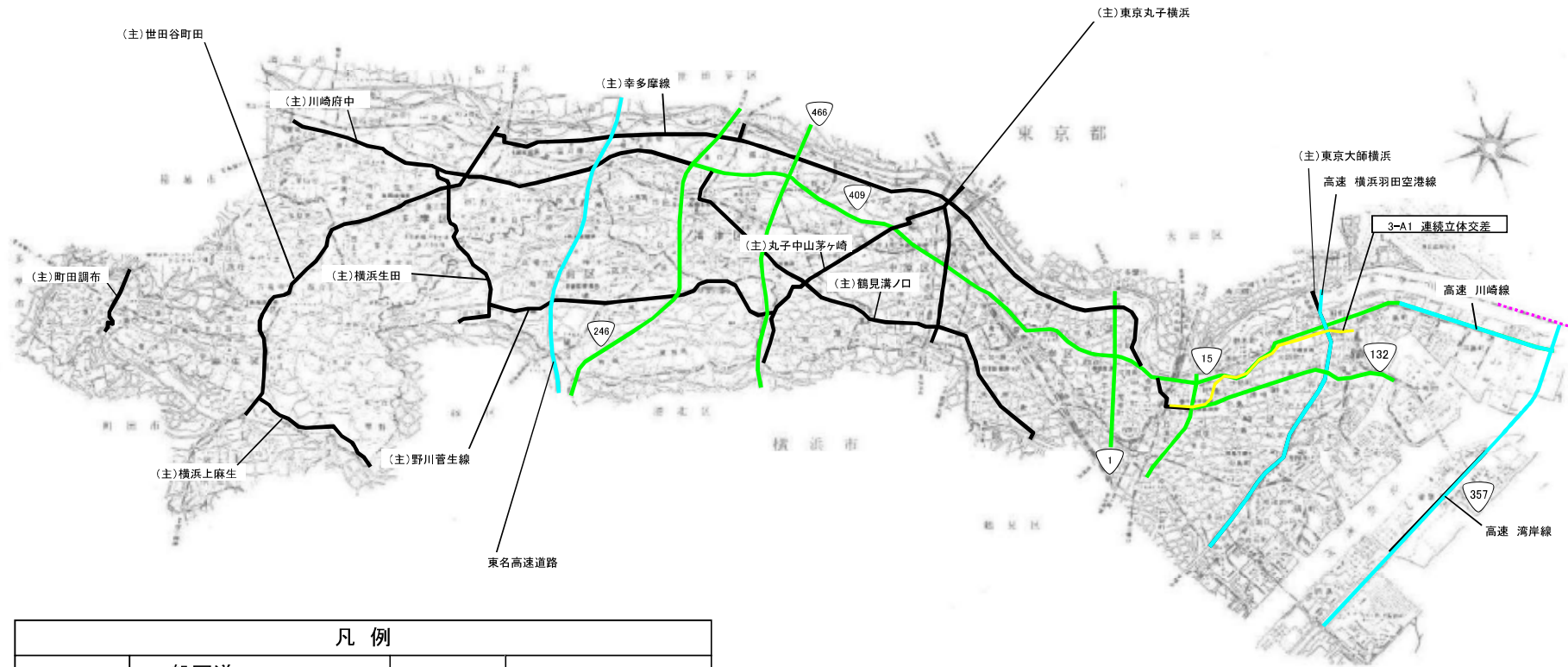
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	H32	H33	H34
配分額 (a)	2,190				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	2,190				
前年度からの繰越額 (d)	1,375				
支払済額 (e)	3,114				
翌年度繰越額 (f)	451				
うち未契約繰越額 (g)	0.000				
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	3 川崎市内における踏切による交通渋滞を解消する連続立体交差事業		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度（5年間）	交付対象	川崎市



凡 例			
	一般国道		交付対象事業
	高速道路		
	街路事業		